



9 神宮之図 中村左洲・川口呉川

対幅

昭和三年（一九二八）

絹本着色

本紙各二二八・五×三七・三

昭和の大礼を祝つて、宇治山田市（現在の三重県伊勢市）より献上された作品で、同市在住の二人の画人による合作。右幅は、中村左洲が担当し、得意としていた内宮春景を描いている。対する左幅は、川口呉川（一八七九～一九五七）が一面雪景色となった冬の

外宮を描く。中村左洲と同様に、川口呉川も宇治で制作活動を行っていた磯部百鱗に師事した画家である。名を寅太郎、別に古衣庵、五瀬十峰堂とも号した。呉川は百鱗に師事した後、竹内栖鳳の画塾に入り、京都市立絵画専門学校（現在の京都市立芸術大学）にも通っている。左洲、呉川とも四条派系列の画家ではあるが、左洲の落ち着いた色使いに比べると、呉川の夕景を示すと思われる赤みがかった冠雪の木々と、鮮やかな池の青色の対比にはやや革新的な色彩感覚がうかがえる。

- ・各展覧会図録中，作品名や作者，制作年などの表記は，図録発行当時のものです。
- ・三の丸尚蔵館の展覧会図録の著作権はすべて宮内庁に属し，本ファイルを改変，再配布するなどの行為は有償・無償を問わずできません。
- ・三の丸尚蔵館の展覧会図録（PDF ファイル）に掲載された文章や図版を利用する場合は，書籍と同様に出典を明記してください。また，図版を出版・放送・ウェブサイト・研究資料などに使用する場合は，宮内庁ホームページに記載している「三の丸尚蔵館収蔵作品等の写真使用について」のとおり手続きを行ってください。なお，図版を営利目的の販売品や広告，また個人的な目的等で使用することはできません。

## 寿ぎの品々を読み解く

三の丸尚蔵館展覧会図録 No. 75

編集 宮内庁三の丸尚蔵館  
制作 株式会社 東京美術  
翻訳 黒川廣子  
発行 宮内庁  
平成二十九年一月七日発行

© 2017, The Museum of the Imperial Collections, Sanmonnan Shozokan